

第138回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成26年2月7日(金) 15:00～17:30

場所：JR東海品川ビルA棟会議室

出席者：委員長 北野（JR東海）

副委員長 水野（信州大）

委員 上田（東芝）、海老原（IEEJフェロー）、古関（東京大）

白石（安川電機）、森下（工学院大）、長谷川（鉄道総研）、藤崎（豊田工大）、

矢野（近畿大）、吉桑（三菱電機）、脇若（信州大）、渡邊（IEEJプロ）

幹事 村井（JR東海）

幹事補佐 矢島（SMC）（記）

（15名）

欠席連絡（委任） 大橋（関西大）、樋口（長崎大）、平田（大阪大）、

前田（シンフォニアテクノロジー）、増澤（茨城大）、和多田（東京都市大）（6名）

提出資料

138-1 第137回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

138-2 リニアドライブ技術委員会名簿（矢島幹事補佐）

138-3 平成25年度リニアドライブ技術委員会活動報告（北野委員長）

138-4 平成25年電気学会産業応用部門研究会論文発表賞（北野委員長）

138-5 リニアドライブ技術委員会貢献賞（案）

138-6 電気学会HPリニアドライブ技術委員会（北野委員長）

138-7 電気学会マグネティクス/リニアドライブ合同研究会（2014年6月）開催案内（案）（矢島幹事補佐）

138-8 論文募集第6回位置決め技術国際会議（矢島幹事補佐）

138-9 リニアドライブ技術関連カレンダー（矢島幹事補佐）

138-10 委員会構成員変更届け（藤崎委員）

138-11 電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術調査専門委員会設置趣意書（案）（藤崎委員）

138-12 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会（MDD）活動報告（上田委員）

138-13 環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会（MLV）活動報告（長谷川委員）

138-14 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会（MEL）活動報告（矢島幹事補佐）

138-15 2013年12月リニアドライブ・モータドライブ合同研究会開催報告（長谷川委員）

138-16 第11回産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）

138-17 第12回多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会議事録（上田委員）

議事

1. 議事録確認

第137回委員会の議事録（資料138-1）について、修正なく承認された。

2. 報告事項

2.1 資料138-2を基に、LD技委の名簿が確認された。藤崎委員（2号）が未記載なので記載する。

2.2 資料138-3を基に、北野委員長から2月27日に開催される第114回（H25年度第4回）産業応用部門研究調査運営委員会で報告する資料について説明された（確認・了解事項は下記3.1～3.3参照のこと）。

2.3 資料138-4を基に、北野委員長から、平成25年電気学会産業応用部門研究会発表賞の受賞者が報告された。LD技委からは下記の5名。後日表彰もしくは賞状の送付を行なう。

・本部表彰：加藤雅之（大阪大）、仲岩浩一（多摩川精機）

・部門表彰：山本隆彦（東京理科大）、丸野将太郎（信州大）、米津武則（鉄道総研）

2.4 資料138-6を基に、北野委員長から電気学会ドメインのLD技委のHPの紹介があった。

2.5 資料138-7を基に、矢島幹事補佐からMAG・LD合同研（6月、長野市）の案内および発表の依頼があった。

2.6 資料138-8を基に、矢島幹事補佐から第6回位置決め技術国際会議（11月、北九州市）の案内およ

び発表の依頼があった。

2.7 資料 138-9 を基に、リニアドライブ技術関連カレンダーについて確認された。

2.8 資料 138-10 を基に、藤崎委員から MMA 委の委員追加が説明された。本件は北野委員長承認済。

3. 審議事項

3.1 次年度の研究会開催について、下記が確認・了解された。

- ・2014年6月(長野) 担当: MEL 委, MAG と共催
- ・2014年6月(未定) 担当: MMA 委, 磁気学会と共同
- ・2014年8月(静岡) 担当: LD 技委, RM・HCA と共催
- ・2014年11月(金沢) 担当: LD 技委, MAG・MD と共催, MAG・MD へは脇若委員から連絡
プログラム作成は MLV が担当, 会場準備等は金沢大に依頼する
- ・2014年12月(未定) 担当: MMA 委, MAG と合同
- ・2015年1月(未定) 担当: MDD 委

3.2 次年度の調査専門委員会の解散・設置について、下記が確認・了解された。

- ・MLV 委: 2014年10月解散。2014年12月設置予定。次回の LD 技委で解散報告書案を提出する。
- ・MDD 委, MEL 委: 2014年10月解散。

3.3 次年度のシンポジウム・産業応用フォーラムについて、下記が確認・了解された。

- ・産業応用部門大会(2014年8月)で MDD 委がシンポジウムを企画
- ・産業応用フォーラム(時期未定)を MLV 委が開催

3.4 資料 138-5 を基に、平成 26 年電気学会全国大会シンポジウムで発表していただく方に贈呈する貢献賞(案)について審議された。今回の内容は「貢献賞」よりも「感謝状」がふさわしく、企業からの学会活動の参加・協力を促すことを目的に「感謝状」として贈呈することが決定した。資料 138-5 について下記の修正を行なったメモを作成し、また贈呈した方を記録することが決まった。

- (1) 4 行目: 「貢献賞」の表彰を行なう→感謝状を贈呈する
- (2) 6 行目に追加: ならびに技術委員会で認められた者
- (3) 11 行目: 賞状は担当調査専門委員会が準備する→感謝状は技術委員会が準備する

3.5 資料 138-7 の LD 技委の HP の紹介の際、下記の意見があった。

- (1) 「リニアモータ応用ハンドブック」の出版元の工業調査会がなくなっており、他に移したほうがよい(海老原委員)。
- (2) 「リニアモータ応用ハンドブック」の再編集委員会を作ってもよい(北野委員長)。
- (3) LDIA2013(中国)のプロシーディングを購入しても他の論文の閲覧が有料となっている。
→LDIA 運営委員会で中国側に申し入れを行なう。

3.6 資料 138-11 を基に、藤崎委員から電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術調査専門委員会の活動予定が説明された。6 月ころ磁気学会と共同で研究会を開催すること、12 月頃 MAG と共同で研究会を行なうことが承認された。また、本委員会は暫定として MMA 委と略称する。

3.7 論文委員に坂本泰明氏(鉄道総研)が推薦され、承認された。LD 技委には参画せず活動を行なう。

4. 各調査専門委員会活動報告

資料 138-12～資料 138-17 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

次回(第 139 回)開催予定: 2014 年 4 月 25 日(金) 15:00～17:30 JR 東海品川ビル

以上